

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) 2025年度 Formula Classアドバンスコース修了式のご報告

拝啓 処暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では、8月6日 (水) に2025年度「Formula Classアドバンスコース」の最終カリキュラムおよび修了式を行いました。2024年末より開催してきた「Formula Class入校選考会 STEP1」および、「同STEP2」を経て選抜した受講生8名を対象に行ってきた「Formula Classアドバンスコース」は、今回のカリキュラムをもって延べ8日間・合計32時間に及ぶ全日程を無事に終了することができました。これもひとえにご協賛・ご協力いただきました各社の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

今後もHRS鈴鹿は世界に通用するドライバーの育成を目標に活動を続けて参ります。引き続きご理解・ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

2025年8月

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2025 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) Formula Classアドバンスコース最終カリキュラム・修了式 開催概要

- 日時: 2025年8月5日 (火)、6日 (水)
- 概要: 8月5日 (火) フリー走行 (20分間×4セット)
計測走行 (15分間×2セット)
セット走行 (10周×1セッション)
- 8月6日 (水) フリー走行 (20分間×2セット)
計測走行 (20分間×1セット)
セット走行 (10周×2セッション)
修了式 (スカラシップ候補生発表)

- 参加: Principal…佐藤琢磨
(敬称略) Executive Director…中野信治 (8月6日のみ)
Director…佐藤浩二
Chief-Instructor…野尻智紀・大津弘樹
Instructor…加藤寛規・小出峻・野村勇斗・小林崇志
Physical Coach…鎌田貴
Guest…角田裕毅
アドバンス受講生 8名



カリキュラム最終日の朝、スクール用に専用設計されたオリジナルフォーミュラカー「HRS-F24」を囲んで集合写真撮影を実施

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 FUSION

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARI
TEL 03-3541-2311

 TORAY
Toray Carbon Magic

 YAMAHA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
HEAT SHIELDING SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

[50音順]

選ばれた8名のみによる少数精鋭、 短期集中型スクールの集大成となった最終カリキュラム

入門用マシンであるフォーミュラEnjoyの車両を使用し、運転技能を審査する「Formula Class入校選考会 STEP1」(2日間)と、ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿独自のフォーミュラカーを使用し、運転適性などを審査する「同STEP2」(3日間)。2024年末より開催してきたその2つのコースを経て選抜した受講生8名は各回2日間ずつのカリキュラムを計3回消化し、今回の第4回目が「Formula Classアドバンスコース」の2025年度最後のカリキュラムとなりました。

初日の8月5日(火)は十分なウォームアップの後、いつものように全体ミーティングから1日がスタートしました。その後、受講生たちはメカニックが入念に整備したスクール用フォーミュラカーに乗り込み、実技トレーニングへ。マシンの個体差に関係なく確実なドライビングができるよう、前回カリキュラムの最終日からランダムに入れ替えられたスクール用フォーミュラカーのペダルの高さや踏みしろを確認した後、20分間ずつのフリー走行を4セット実施しました。

走行後にはホイール洗浄を行い、ホイールに傷やヒビ、割れなどがないかを確認した後、15分間による計測走行を2セットに渡って実施。さらに、10周によるセット走行を行いました。

これらの走行時は小出峻Instructor(スーパーフォーミュラとSUPER GTに参戦)、野村勇斗Instructor(スーパーフォーミュラ・ライツとSUPER GTに参戦)が同時走行しました。また、佐藤琢磨Principal、中野信治Executive Director、佐藤浩二Director、野尻智紀・大津弘樹Chief-Instructor、加藤寛規・小林崇志Instructorにはコース脇やピットにて受講生の走りをチェックしていただき、走行後に受講生に対してアドバイスを行っていただきました。



トップカテゴリーで活躍する現役レーシングドライバーも参加し、本番レースさながらの走行練習となったセット走行を2日間・3セッションに渡って実施

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 FUSION TANK
FUEL TANK

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARL
F1 2013 F2 2014 F3 2015

 TORAY
Toray Carbon Magic

 YAMAHA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
HEAT SHIELDING SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

[50音順]

現役F1ドライバーの角田裕毅選手と一緒に走る 貴重な体験となった最終日のセット走行

迎えた最終日の8月6日(水)の朝、鈴鹿サーキットレーシングコースのピットには現役F1ドライバーの角田裕毅選手がサプライズ登場。佐藤PrincipalをはじめとするInstructor陣、そして受講生らに歓迎された後、この日も全体ミーティングから1日がスタートしました。佐藤Directorによってスケジュールの確認と走行の注意点の説明が行われた後、佐藤Principalと各Instructor陣から受講生に対して激励の言葉が掛けられました。

そしていよいよ最後の実技トレーニングへ。まずは初日の8月5日(火)に使った車両からランダムに入れ替えられたスクール用フォーミュラカーの状態を確認しながら20分間によるフリー走行を2セットに渡って実施。その後、タイヤを新品に交換し、20分間の計測走行を行い、さらに10周ずつによるセット走行を2セッションに渡って実施しました。

計測走行ではまずQuinten Lu(受=受講生;以下同)が2分06秒925をマークしてタイミングボードのトップに。そのタイムを土橋皇太(受;2分06秒386)と落合蓮音(受;2分06秒840)が上回ります。さらに野村Instructor(2分05秒728)と黒沢和真(受;2分05秒731)がともに2分05秒台をマーク。鈴木悠太(受)が2分06秒143をマークしてそれに続きます。黒沢は2分05秒587をマークして自己ベストを更新。落合も2分06秒053をマークして黒沢、野村Instructorに続く3番手に。黒沢は最後の最後で2分05秒584をマークしてわずかに自己ベストを更新。黒沢、野村Instructor、落合、鈴木、小出Instructor、土橋、塩田惣一郎(受)と酒井翔太(受)、Lu、松本琉輝斗(受)、2024年に刷新されたスクール用フォーミュラカーの「HRS-F24」を初めてドライブした角田選手のタイム順になりました。

計測走行のベストタイム順にグリッドに並んでスタートしたセット走行セッション1では2番グリッドスタートの野村Instructorがホールショットを奪うと、それに落合、黒沢と続きます。トップ3はそのオーダーのままオープニングラップを終了。中盤以降では10番グリッドスタートの松本が7番手に浮上し、オープニングラップを終えました。野村Instructorは徐々に後続との間にアドバンテージを築き、単独トップに。塩田が3周目に松本をパス。続く4周目には酒井も松本をパスします。6周目の西ストレートでは黒沢が落合をパスして2番手に。その間も野村Instructorは安定した走りを披露してトップチェッカー。それに黒沢、落合、鈴木、小出Instructor、土橋、酒井、松本、Lu、角田選手と続き、チェッカーを受けました。

続いて計測走行のセカンドベスト順にグリッドに並んでスタートしたセット走行セッション2では小出Instructorが良いクラッチミートを披露してホールショットをゲット。小出Instructor、黒沢、鈴木、土橋、落合、松本、塩田、酒井、角田選手、野村Instructor、Luと続いてオープニングラップを終了します。2周目に土橋が鈴木をパスして小出Instructor、黒沢に続く3番手に浮上。そのバトルの間も小出Instructorは後続との間にアドバンテージを築き、一時的に独走態勢になりかけましたが、黒沢が再び小出Instructorに接近。黒沢は終盤まで小出Instructorのテールに食らいつく粘り強い走りを披露しましたが、パスするには至らず、小出Instructor、黒沢のオーダーでチェッカーを受けました。ファイナルラップでは鈴木が土橋をパスして3番手に。鈴木のためまで諦めない走りが光りました。4位以降は土橋、落合、松本、酒井、塩田、角田選手、野村Instructor、Luのオーダーとなりました。



現役F1ドライバーの角田裕毅選手がサプライズ登場し、最終カリキュラムを受講生たちとともに走行

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 FRONTMOUNT
RACING

 Sabell

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARL
F1 2013 F2 2014 F3 2015

 TORAY
Toray Carbon Magic

 YAMAHA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
RACE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

[50音順]



最終日の全体ミーティングでは佐藤琢磨Principalはじめ、各Instructor陣から8名の受講生に激励の言葉が掛けられた



世界で活躍しているトップドライバーから直接アドバイスを受けられるのもHRS鈴鹿の大きな特徴のひとつ

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXCEL
Motorsport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

FRONTMANT
HELMET

Sabelt

CCI

SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

IONY/KARL
F1 2013 F2012 F2011

TORAY
Toray Carbon Magic

三菱

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
HEAT SHIELDING SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS



最終日、サプライズ登場した角田裕毅選手も後輩にあたる受講生たちに直接アドバイス



ビットインのたびにデータロガーを入念にチェックし、次の走行へとフィードバックする

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXCEL
Motorsport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

ROCKSTAR
ENERGIZANT

Sabelt

CCI

SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

IONY/KARL
F1, 250, 125, 125, 125

TORAY
Toray Carbon Magic

三菱

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
HEAT SHIELDING SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS



TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXCEL
Motorsport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HDDC
BATTERY

FRONT TANK
FUEL TANK

Sabelt

CCI

SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

IONY/KARL
F1 2012 F21 2012 F21 2012

TORAY
Toray Carbon Magic

車夢

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
HEAT SHIELDING SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS



さらに少数精鋭の教育環境の中、Honda育成ドライバーを選抜する「Formula Classスカラシップ選考会」への進出者を決定

2セッションに渡るセット走行を終えたその午後には「Formula Classスカラシップ選考会」への進出者発表を含む「HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコース」の修了式を行いました。ここでは、HRS鈴鹿Formula Class Principal兼HRCエグゼクティブ・アドバイザーの佐藤琢磨氏より受講生一人ひとりに修了証書が授与されました。さらに、8名の修了生の中から優秀な成績を修めた黒沢和真、土橋皇太、鈴木悠太の3名を「Formula Classスカラシップ選考会」へと進出させることを発表しました。

これをもちまして、2025年度の「HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコース」までが無事終了しました。この後は選出された3名による「Formula Classスカラシップ選考会」のカリキュラム(コース使用 合計16時間)を9月2日(火)から行い、さらに高度な実戦テクニックを磨くための様々な

プログラムを消化した3名の中から厳選、2025年度スカラシップ(奨学制度)対象者を10月8日(水)に決定。その対象者には若手ドライバーの発掘・育成を目的とした「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト(HFDP)」の育成ドライバーとして2026年シーズンの各種レースに参戦する権利が与えられることとなります。

HRS鈴鹿出身者には佐藤琢磨Principal(1997年度修了)はもとより、2021年シーズンからF1にレギュラー参戦している角田裕毅選手(2016年度修了)など、国内外で活躍するドライバーが数多くいます。彼らに倣って今回の受講生たちも成長していくことが期待されます。今後とも受講生たちの活動に注目いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

●佐藤琢磨Principalのコメント●

『このスクールは世界で通用するドライバーを育成するのが目的です。プロになれるかどうかの分かれ目の場所です。思い通りにならなかったこともたくさんあったはずですが、その中で試行錯誤してきたこと全てが大切な経験になると思います。スカラシップ選考会に進出する者、進出しない者に関わらず、これまで頑張ってきたことを誇りに思っていて欲しい。そして進出する人にとっては、選ばれたからゴールということではなく、ここからが新たなスタートです。今まで頑張ってきたことを思い返し、スカラシップ選考会でも役立てて欲しいと思います。プロの役割はマシンを速く走らせることだけではありません。ここにいる皆さんの技術はプロと遜色ありません。そういう意味では皆さんはすでにプロです。一番大切に考えて欲しいのは気持ちです。今回、角田裕毅選手がスクールに来てくれました。自分が卒業したスクールの役に立てることがあればやってみたいということに来てくれたのです。そしてスクール用フォーミュラカーに乗りたいということで、今日初めて乗り、いきなり皆さんとセット走行を走りました。全く乗ったことがないマシンに乗る。そして皆さんと争う。これはプロだからこそ勇気が必要なことです。こうしたチャレンジする気持ちが大切なのです。プロというのは周りの人々の心を動かすことができる人のことを言います。プロはもちろん結果も求められますが、その背景にあるのは挑戦し続ける強い気持ちがあるかどうかです。不可能なことを可能にするため、努力するからこそ人の心を動かすことができるのです。そういうことを皆さんも理解し、いろいろなことに挑戦して欲しいと思います』



晴れやかな表情で佐藤琢磨Principalから修了証書を受け取る受講生

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 FUSION

 Sabell

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARL
F1 2013-2014 2015-2016

 TORAY
Toray Carbon Magic

 YAMAHA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
RACE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

●角田裕毅選手のコメント●

『スカラシップ選考会に進出する受講生を発表する際、私がこのスクールを受講した時のことを思い出し、非常にドキドキしました。その時は、私の名前は呼ばれませんでした。その日、帰る道中で感じた悔しさを今でもよく覚えています。私はスカラシップを獲得できませんでした、自分の全てを出し切ったつもりですし、今でも後悔はありません。そこで挫折を経験したことで強くなれたと思います。選考に向けた最後のセット走行ではジャンプスタートしてライドスルーペナルティを受けました。結果、集団から遅れ、一人で走るようになったわけですが、1周1周全力で走り切りました。手を抜かなかったことが現在の自分に繋がったのだと思います。こうしたことはレースだけでなく、人生のいろいろな部分で大切になってきます。スカラシップ選考会に進む人も今回選ばれなかった人も成長する良い機会だと考え、一つひとつのチャンスを逃さないよう、この後の人生に活かしていってください』

●「HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ選考会」進出者のコメント●

◇黒沢和真(くろさわかずま) 17歳／長野県

『スカラシップ選考会のメンバーに選ばれ、まずはホッとしています。ここまでたどり着くのに多くの方々に支えていただきました。そして、今日この場にきていただき、貴重な体験をご提供くださった角田裕毅選手にも感謝しています。アドバンスコースで学ぶ中で、まだまだ課題が多くあるのを感じました。スカラシップ選考会ではそれらの課題を改善し、悔いのないよう全ての力を出し切りたいです』

◇鈴木悠太(すずきゆうた) 17歳／山形県

『まずは候補生に選ばれて素直にうれしいです。今回の最終カリキュラムは前回と比べ、課題だと考えていたところを改善でき、うまくまとめることができました。前回まではInstructorの皆さんに置いていかれることがありましたが、今回はついていくことができたことで光が見え、自信もつきました。この後も日々の努力を怠らずに過ごし、スカラシップを獲得できるように頑張ります』

◇土橋皇太(つちはしこうた) 18歳／兵庫県

『今朝、角田裕毅選手がこの場にいて驚きました。と同時に、いっしょに走ってくださると聞き、絶対負けたくないとも思いました。タイヤのマネジメントなど、まだまだ学ばなければいけないことがたくさんあると考えています。そのあたりを詰めていき、確実なステップアップを心がけます。そして、万全な状態に整え、首席でスカラシップ選考会を終えたいと思います』



2025年度「HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ選考会」へと進出する3名
写真左から、黒沢和真、土橋皇太、佐藤琢磨Principal、鈴木悠太

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 FUSION

 Sabell

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARL
F1 2013 F2 2014 F3 2015

 TORAY
Toray Carbon Magic

 SUZUKI

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
RACE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS